

【教員氏名】

篠原 千佳  
 研究室:聖アンデレ館 6階 614 号室  
 メールアドレス:shinohc@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

この講義は社会学の基礎知識を提供し、さまざまな社会問題について社会的に考察する。トピックとしては、孤立化社会、学校教育と就職問題、非行と犯罪、地域社会の崩壊と再生、グローバル化と社会の多様化、社会階層と格差、メディアと大衆文化、人権問題と雇用均等、福祉国家、安心社会から信頼社会への変化、幸福感と社会意識、グローバル化社会と日本の役割などを予定している。

【学習目標】

社会学の理論・研究方法など基礎知識を習得しながら、最近のグローバル化する社会で起こっている様々な問題を、社会的に理解・分析する基礎力を育てることを目標とする。この学期の最終目標は、各受講生が、多様化する現代社会の現象や問題を多角的な視点で理解・分析できるようになり、解決方法を模索・提示できる能力を身につけることである。

【講義計画】

- 第1回:講義紹介
- 第2回:社会学とは、グローバル化社会とは
- 第3回:現代社会をキャッチするー社会学理論と調査方法
- 第4回:孤人化社会と親密性の罠1ー氾濫する親密性
- 第5回:孤人化社会と親密性の罠2ー近代化、個人主義、孤立化
- 第6回:学校から職業へ1ーライフコース、未来予想図は見える？
- 第7回:学校から職業へ2ー自己実現と学歴社会のホント
- 第8回:図書館調査活動ー現代社会リサーチプロジェクト
- 第9回:非行文化喪失と少年犯罪1ー犯罪の現状と変化
- 第10回:非行文化喪失と少年犯罪2ーソーシャル・ネットワーク
- 第11回:地域社会の崩壊と再生1ー地域社会、多様化、リスク
- 第12回:地域社会の崩壊と再生2ー地域社会の社会的分析
- 第13回:格差と不平等1ー総中流社会から格差社会へ
- 第14回:格差と不平等2ー少子高齢化社会と階層社会
- 第15回:これまでのまとめと復習
- 第16回:現代社会と宗教の役割
- 第17回:社会変動と大衆文化1ー出版不況を考える
- 第18回:社会変動と大衆文化2ー大衆社会と文化論的解釈
- 第19回:家族とジェンダー1ージェンダー視点で見る近現代日本社会
- 第20回:家族とジェンダー2ー性別役割と社会制度を考える
- 第21回:福祉国家1ー福祉レジームと社会保障制度
- 第22回:福祉国家2ー日本の出産、保険、年金、介護
- 第23回:安心社会から信頼社会へ1ーリスク社会を生きる
- 第24回:安心社会から信頼社会へ2ー市民社会とNGO・NPO
- 第25回:グローバル化と社会意識1ーグローバル化と幸福感
- 第26回:グローバル化と社会意識2ー世界の中の日本を考える
- 第27回:グローバル社会と日本の役割1ー日本とUN国際機関の役割
- 第28回:グローバル社会と日本の役割2ー日本に課せられた役割
- 第29回:今学期のまとめと復習
- 第30回:期末試験準備

【成績評価の方法】

試験評価:% レポート:% 出席:%  
 期末試験(基礎)30% 期末試験(論述)40% 授業参加・貢献30%  
 基本的な理解を試験と自由選択テーマの論述で確認するほかに、授業への参加・貢献の総合的な判断で評価する。毎回講義時間内外の課題に取り組み、積極的に参加・貢献することに加えて、協調性を持って他の受講生とも課題に取り組むことが求められる。

【使用テキスト】

友枝 敏雄・山田真茂留(編)『Do! ソシオロジー 改訂版 ー 現代日本を社会学で診る』有斐閣アルマ

【参考文献】

指定のテキスト以外の参考文献は講義中に指示する。

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】

講義時の指示に従い、教科書と関係資料を毎回必ず予習・復習し授業に臨むこと。基本的には、教科書の該当する章(約 10~20 ページ)を熟読し、その章の設問に答えられるよう準備しておくこと。講義時間内外での提出課題は個人、ペア、グループ・ワークなど多様であり、自立心と積極性に加えて協調性が求められる。

【その他備考(担当教員用)】

【備考(管理者用)】